



おいらせ町議会だより

懸かけはじ橋

2017.7.26 No.46



CONTENTS

- 議員提案により選挙公報条例制定へ…………… P 2
- 町政を問う（一般質問：3人）…………… P 6
- 選挙公報発行に向けて3回目の調査を実施… P 10
- 都市計画の見直しについて調査結果を報告… P 11
- 3つの目標を掲げ活動する議会を訪問…………… P 12

6月25日開催のいちょうマラソン
約900人のランナーが参加



議員提案により選挙公報条例制定へ

次の町長選挙より全世帯に配布される見込み



提案理由を説明する吉村敏文議員

平成29年第2回定例会は、6月1日から6日までの6日間の会期で開かれ、報告16件、議案9件、発議1件が上程され、審議の結果いずれも原案のとおり同意・可決しました。
一般質問には、3人の議員が登場し、一問一答方式により町当局の考えを質しました。

町の議会議員及び長の選挙における
選挙公報の発行に関する条例の制定について
— (発議第1号) —

町で行われる議員選挙や町長選挙の際に候補者の政見を比較する材料として選挙公報を発行する条例を制定する提案が議員から提出されました。

町長選挙と町議会議員選挙における選挙公報の発行については、公職選挙法の規定により自治体の判断とされています。過去においらせ町で行われた町長選挙と町議会議員選挙の投票率は減少傾向となっています。

減少傾向を食い止めるには、有権者に選挙への興味を持ってもらう必要がある、そのためにも、各候補者の氏名、経歴、政見等について知る機会をふやすことが重要であるとの考えから、選挙公報発行に関する条例を制定する提案がありました。審議の結果、全会一致で可決されました。

【提案者】

吉村 敏文 議員

【賛成者】

佐々木 光雄 議員

下田第8分団消防ポンプ自動車の更新

— (議案第37号) —

町では、下田第8分団(向山)で現在使用している消防ポンプ自動車(平成8年10月購入)に代わり、新たに消防ポンプ自動車を購入する契約を締結するため、議会の議決を求めました。
議云では、審議の結果全会一致で可決しました。
契約金額 2300万4千円
契約の相手方 株式会社 八戸鉄工所

新学校給食センター外溝工事を契約

— (議案第38号) —

町では、現在建設中の新学校給食センターの外溝工事を契約の締結のため、議会の議決を求めました。

この工事により、新学校給食センター敷地の側溝や門扉やフェンスが整備されます。

議会では、審議の結果、全会一致で可決しました。

契約金額

8262万円

契約の相手方

株式会社 柏崎組



来年度の業務開始に向け建設中の新学校給食センター

補正予算

国道45号沿いに古墳館の案内看板を増設

設置費86万円を計上

平成29年度一般会計補正予算（第1号） 主な内容

【主な財源（歳入）】

- 県市町村元気事業費補助金 …………… 580万円
- 下田公園記念樹の森整備指定寄附金 …………… 50万円
- 財政調整基金の取り崩し …………… 1,318万円
- 町村の魅力発信事業助成金 …………… 200万円

【主な事業（歳出）】

- 分庁舎トイレ改修工事費 …………… 240万円
- 木ノ下児童館跡地フェンス等撤去工事費 …………… 287万円
- 防火水槽撤去工事費 …………… 180万円
- 阿光坊古墳館案内看板設置工事費 …………… 86万円

平成29年度一般会計補正予算は、既定予算の総額に2248万円を増額し、予算総額を103億5428万円としました。

【主な質疑】

澤上勝議員 木ノ下児童館跡地のフェンス撤去と跡地売却の時期は。

町民課長 7月には入札を行い、2カ月くらいで終了させたい。跡地は行政財産なので、工事終了後に普通財産に変更してから売却する手続きを取る。

澤上訓議員 県市町村元気事業費補助金とは。

企画財政課長 販路拡大に向けたベトナム関係の事業、地域空き店舗関係の事業、里山の森づくり事業に使われる。

楢山議員 どの防火水槽を撤去するのか。

まちづくり防災課長 根岸の個人所有地内に設置されており、土地所有者の要望があったため防火水槽を撤去することになった。



木ノ下児童館跡地

特別会計

◆ 介護保険特別会計補正予算（第1号）

既定予算の総額にそれぞれ58万円を増額し、予算総額を23億916万円としました。歳出の内容は、介護保険システム改修委託料を増額します。

◆ 後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）

既定予算の総額にそれぞれ38万円を増額し、予算総額を1億7020万円としました。歳出の内容は、厚生労働省システム誤りによる保険料減額更正のため、還付金を増額するものです。

町民プール施設、着工へ

平成30年6月オープンをめざす

—（議案第39、40号）—

町民プール施設の建設に伴う工事の契約を締結するため、議会の議決を求めました。

町では、下田公園内に建設する町民プール施設に関する工事の契約の締結のため、議会の議決を求めました。

議会では、審議の結果、全会一致で可決しました。平成30年2月には工事が完了し、6月から使用できる見込みです。

● 町民プール施設

建築工事

契約金額

2億7540万円

契約の相手方

株式会社 柏崎組

● 町民プール施設

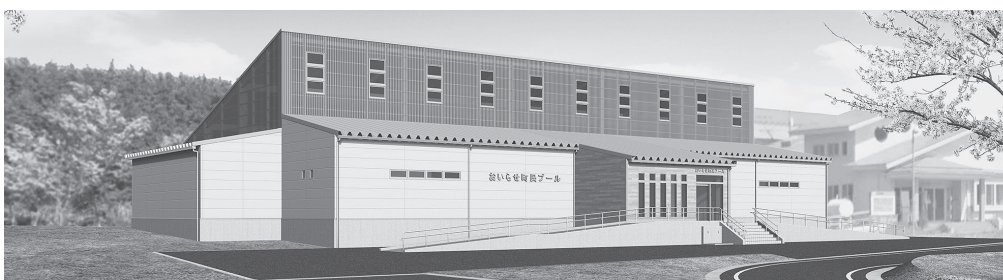
機械設備工事

契約金額

6571万8千円

契約の相手方

有限会社 田中水道工業所



町民プール施設完成予想図

その他の報告案件

平成28年度一般会計補正予算は、既定予算の総額から1億3796万円減額、予算総額を119億8853万円とし、3月31日付けで専決処分したことについて報告があり、承認を求められました。

平成28年度一般会計補正予算（第7号専決） 主な内容

【主な財源（歳入）】

- 地方消費税交付金 …………… 2,631 万円
- 地方交付税（特別交付税・震災復興特別交付税）…………… 1 億 3,044 万円
- 財政調整基金の取り崩し …………… ▲ 2 億 7,235 万円

【主な事業（歳出）】

- 公共施設整備基金積立金 …………… 5,000 万円
- 地域の元気再生定住促進助成金 …………… ▲ 440 万円
- 町道維持補修工事費 …………… ▲ 210 万円
- 小・中学校内LAN整備工事費 …………… ▲ 1,018 万円

◆国民健康保険特別会計補正予算の専決処分

既定予算の総額から3015万円を減額し、予算総額を29億8797万円とし、3月31日付けで専決処分したことについて承認を求められました。

◆奨学資金貸付事業特別会計補正予算の専決処分

既定予算の総額から25万円を減額し、予算総額を2236万円とし、3月31日付けで専決処分したことについて承認を求められました。

◆公共下水道事業特別会計補正予算の専決処分

既定予算の総額から195万円を減額し、予算総額を11億2350万円とし、3月31日付けで専決処分したことについて承認を求められました。

◆農業集落排水事業特別会計補正予算の専決処分

既定予算の総額から609万円を減額し、予算

◆介護保険特別会計補正予算の専決処分

既定予算の総額から5196万円を減額し、予算総額を21億7996万円とし、3月31日付けで専決処分したことについて承認を求められました。

◆公共用地取得事業特別会計補正予算の専決処分

既定予算の総額から10万円を減額し、予算総額を1676万円とし、3月31日付けで専決処分したことについて承認を求められました。

平成28年度継続費繰越計算書の報告

- 地方公会計導入支援事業 …………… 205 万円
(135万円支出済)
- 下田公園湿地帯木道改修事業 …………… 5,395 万円
(5,245万円支出済)
- 防災行政無線放送施設整備事業 …………… 4,784 万円
(4,701万円支出済)

※継続費とは、数年度にわたる事業などを実行するとき、その総額と年度ごとの額をあらかじめ一括した予算にし、議会の議決を得たものをいいます。

平成28年度繰越明許費繰越計算書の報告

- 個人番号カード等関連事務費交付事業 …………… 191 万円
 - 小学校施設非構造部材耐震化事業 … 5,222 万円
 - 学校給食センター建設事業 … 13 億 3,425 万円
- ※繰越明許費とは、経費の性質や予算成立後のなんらかの理由で、その年度内に支出を終わらない見込みがあるものについて、議会の議決を得て翌年度に限り繰り越して使用できるようにする予算をいいます。通常は、補正予算のかたちで議会に提案します。

◆町復興産業集積区域における固定資産税の特別措置に関する条例の一部改正専決処分

既定予算の総額から10万円を減額し、予算総額を1676万円とし、3月31日付けで専決処分したことについて承認を求められました。

◆町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正専決処分

既定予算の総額から5196万円を減額し、予算総額を21億7996万円とし、3月31日付けで専決処分したことについて承認を求められました。

◆町復興産業集積区域における固定資産税の特別措置に関する条例の一部改正専決処分

既定予算の総額から10万円を減額し、予算総額を1676万円とし、3月31日付けで専決処分したことについて承認を求められました。

◆町介護保険条例の一部改正専決処分

既定予算の総額から25万円を減額し、予算総額を2236万円とし、3月31日付けで専決処分したことについて承認を求められました。

人事案件

◆町教育委員会委員の任命につき同意を求めるとのこと

委員の任期満了に伴い、引き続き松林正幸氏を教育委員に任命する提案がありました。

議会では全会一致により任命することに同意しました。

任期は、平成29年6月9日から平成33年6月8日までの4年間となります。



松林 正幸氏(木ノ下)

◆町固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めるとのこと

委員の辞職に伴い、町会計管理者を務めた経歴を持つ種市岩男氏を新たに委員に選任する提案がありました。

議会では全会一致により選任することに同意しました。

任期は、平成29年6月16日から平成30年5月12日までとなります。



種市 岩男氏(新敷)

※固定資産評価審査委員とは

町長とは独立した中立的・専門的な立場から、固定資産課税台帳に登録された事項に関する不服の審査及び決定その他の事務を行います。

議会構成の変更

常任委員及び議会運営委員の任期満了に伴い、新たに委員が選任されました。

◆総務文教常任委員会

- 委員長 榎山 忠
- 副委員長 田中正一
- 委員 沼端 務
- 委員 松林 義光
- 委員 西館 秀雄
- 委員 澤頭 好孝
- 委員 木村 忠一
- 委員 澤上 勝

◆産業民生常任委員会

- 委員長 西館 芳信
- 副委員長 高坂 隆雄
- 委員 馬場 正治
- 委員 佐々木 光雄
- 委員 吉村 敏文
- 委員 川口 弘治
- 委員 平野 敏彦
- 委員 澤上 訓

◆議会運営委員会

- 委員長 松林 義光
- 副委員長 平野 敏彦
- 委員 佐々木 光雄
- 委員 西館 秀雄
- 委員 澤頭 好孝
- 委員 榎山 忠

第2回議員全員協議会

5月18日(木)、議員全員協議会が開催され、6つの案件について協議しました。

◆洋光台軟弱地盤調査結果の報告と今後の方向性について

洋光台団地内の町有地で実施した地盤調査の結果報告と、建物建設が可能との調査結果から、民間事業者等への売却・賃貸もしくは町による分譲といった活用方針案について説明。

◆新学校給食センター調理等業務の方針について

調理業務は民間委託方式とすること、委託業者の選定方法や契約期間、委託する業務項目などについて説明。

◆町学校給食運営協議会の未回収給食費債権の取扱いについて

町学校給食運営協議会の解散に伴い、未回収債権となる給食費145万円の取扱いについて説明。

◆おいらせ町の議会議員及び長の選挙における選挙公報の発行に関する条例の制定について

選挙公報発行に関する条例案、発行スケジュール等について説明。

◆医師住宅の譲渡について

り、医師住宅を譲渡しないことについて報告。

◆委員の選任について

平成27年5月に選任された常任委員及び議会運営委員の2年の任期が満了したことから、議長から新たに選任する委員案について説明。



地盤調査の結果、建物の建築が可能と判断された洋光台団地内の町有地

町政を問う

～ここが聞きたい 一般質問～

ページ	質問事項	質問議員
7	1. 洋光台軟弱地盤の調査について 2. 強風下における災害時の対応について 3. 介護について 4. 町民バス料金について 5. おいらせ阿光坊古墳館について	橋山 忠
8	1. 副町長の選任について 2. 旧下田第5分団屯所丁字路改良工事について 3. 児童・生徒の通学路について 4. 町内各学校のいじめ問題について 5. 地場産業の育成と地域商店街育成について 6. 国内における姉妹都市・友好交流都市について	澤上 勝
9	1. 町内会の加入について 2. 男女共同参画について	平野 敏彦

※「一般質問」は、行財政全般にわたる議員主導による政策論議です。年4回の定例会で行われます。

議員が、町の一般事務について、執行機関に対しその執行の状況及び将来の方針等について所信をただし、事実関係を明らかにすることにより、現行の政策を変更、是正させ、あるいは新規の政策を採用させるなどの目的効果があります。

※一問一答方式の場合、60分の制限時間内であれば、質問の回数に制限はありません。

「ぎかいたより懸橋」では、質問した議員が原稿を作成しており、スペースの都合上、質問と答弁を要約しています。

※会議録は、議会事務局（本庁舎3階）や町議会ホームページ (<http://www.town.oirase.aomori.jp/site/gikai/>)



榎山 忠 議員

町民バス料金200円、こどもは半額に

町長「利便性向上のため、こども料金の導入を検討する」

洋光台に若者の定住促進施策を

榎山 洋光台軟弱地盤の調査結果が発表された。若者の定住促進を考えた分譲計画の考えは。

町長 榎山議員の視点は大変重要。町や民間事業者提案により分譲計画を行う場合には、若者に対する優遇措置など若者の定住を促進するような施策を含めて検討したい。

町長 榎山議員の視点は

は大変重要。町や民間事業者提案により分譲計画を行う場合には、若者に対する優遇措置など若者の定住を促進するような施策を含めて検討したい。

町長 榎山議員の視点は

は大変重要。町や民間事業者提案により分譲計画を行う場合には、若者に対する優遇措置など若者の定住を促進するような施策を含めて検討したい。

強風下での災害、その責任は。

榎山 4月16日午前中下田で発生した火災の起火原因は。

町長 強風による倒木が配電線にかかり、断線により電気ショートしたことが原因とされる。

榎山 自然発火により火災が発生した場合の責任の所在は。

町長 自然災害に起因

ングさせた事業を展開できないか。

町長 町では5月から空き家情報登録制度を開始し、移住希望者に空き家情報を提供できる仕組みを作った。

空き家活用と若者の定住促進のマッチングも大変有効だが、今は登録制度を始めたばかりなので、まずは、物件登録件数を増やし、制度の運用を行いながら、その状況を踏まえ、若者に対する優遇措置など、若者の定住促進施策と一緒に試してみたい。

榎山 下田公園で倒木の人的被害があった場合の補償は。

町長 町が加入している共済制度では、自然災害に起因する被害には保険が適用されないが、町に法律上の責任がある場合は適用される。

阿光坊古墳館への来館者をふやすために看板の増設を

榎山 阿光坊古墳館開館後の利用状況と来館者の評価、今後の対策は。

教育長 利用者は5月末で1500人を超え、関西からの来客もあった。「貴重な出土品を見学できてよかった」、「次は友人を連れてくる」という声があり、好評と認識している。

今後周辺自治体にパンフレットを置いてもらうほか、町内小中学校の授業に活用してもらおうPRしたい。

また秋には史跡公園のオープンや史跡指定10周年記念講演も予定しており、集客につなげたい。

榎山 もっと良くするために古墳館までのインフォメーションに課題があると思う。

案内看板の設置状況は。また国道45号の下田中学校より阿光坊方面に向かって、車上から館の位置が分かり難い。



国道45号沿いに新たに看板を設置予定（イメージ図）

教育長 現在、看板は5カ所に設置している。

榎山議員の指摘するとおり、現状では走行する車上から古墳館は気づきにくいと思う。

そのため、この付近の土地を借りて、八戸方面

から来る車や十和田方面から来る車が古墳館の位置を確認できるように看板を設置する予定である。



澤上 勝 議員

副町長不在1年2ヵ月、早急に提案を

町長「良い人材があれば、提案したい」

副町長不在、 町長はどう考えている

澤上 県内で一番大きな町に副町長が不在のまま1年2ヵ月になるが、議会に提案されないことをどう考えているのか。

町長 副町長不在により、過大な負担を教育長、各課長にかけていることは、心苦しいが、政策公約「笑顔あふれる元気な町」の実現を目指し、職員一丸となって取り組みを進めていることを理解していただきたい。



旧木ノ下屯所跡地の丁字路改良は平成30年度以降に予定

旧木ノ下屯所跡地の 丁字路改良は

澤上 町内会との協議は進んでいるのか。また工事の時期は。

町長 昨年度までに町内会に交差点の改良案を確認してもらい、道路管理者である県との事前協議を経て、公安委員会との協議を終えた。
平成30年度以降、工事に着手し整備を進めていきたい。

全国で通学中の事故 町の状況は

澤上 児童・生徒の通学路指定状況は。

教育長 下田小、百石小の2校で指定し、両校の児童はきちんと守って登下校している。

また、その他の学校においては、なるべく歩道のある大きな通りを歩くように指導するほか、危険箇所等がある通りを避けるように指導している。



通学する木ノ下小学校児童

地場産業や地域商店街の後継者育成、 町の取り組み状況は

澤上 6次産業化の指導方法と取り組み状況は。また、今後の見通しは。

町長 相談があつた場合は、国の支援対策事業などの情報提供、県などが実施する「あおもり食品ビジネスチャレンジ」を活用した支援、「おいらせブランド推進協議会」と連携した支援を行っている。今後の見通しは関係協議会会員や町民の意見を聴きながら、連携協力の方策を立てていくことにしている。

澤上 地場産業育成の観点から、後継者問題にどのように取り組んでいるのか。

町長 農業後継者については、新規就農者の経営が安定するまでの資金を支援するため、国の事業を活用している。漁業後継者については地域の小学校を対象とした水産教室を開催し、水産物と触れ合う機会を設け、漁業への理解を促す活動に

取り組んでいる。商工業の後継者対策としては、町商工業の将来を担う団体である「町商工会青年部」の活動費を助成している。

澤上 建設・土木工事等の企業体の指導の取り組みは。

町長 町としては、建設・土木等工事を複数の企業が共同で工事を受注し施工するための組織である企業体を支援する取り組みは行っていない。

澤上 商店街活性化の指導と取り組み状況、また今後の商店街ビジョンは。

町長 「おいらせ軽トラ市」、「商店街アートフックラッグ装飾事業」の実施を支援し、加えて空き店舗の解消や商店街活性化事業を展開している。
今後、立地する大型店と商店街の共存を図ることを目指して取り組む。



平野 敏彦 議員

町内会加入率の低下は大きな問題

町長「町では加入をうながしている」

町職員を町内会協力隊員として

配置する考えはないか

平野 町の実世帯数は1万30世帯と聞く。57町内会への加入実態は。

町長 年1回調査をし、加入者の確認をしており、29年3月31日現在、町内会加入世帯数は7005世帯、加入率は全体で69・8%となっている。

平野 町内会加入率の低下は、自治体にとっても町内会にとっても大きな問題。防災や地域の安心・安全を守るためにも重要である。町内会加入の取り組みは。

町長 町に転入される方が、窓口で手続きをした際に、住所地の町内会長の名前と連絡先が記載された用紙を渡している。用紙には町内会の活動内容、必要性が掲載され、加入を促している。

平野 加入率の低い町内会への対策として、八戸市と市連合町内会連絡協議会では、短編動画を

作成し、活動への参加と若者の積極参加を促している。また三沢市では、市役所に臨時窓口を設置し、転入者や市内転居した市民に町内会加入手続きの支援をしている。

まちづくり防災課長 広報等で町内会の活動・役割が住民によくわかるような形で掲載、PRし周知したい。

平野 町職員を町内会協力隊員として配置してはどうか。

町長 職員のかかわり方、職務の内容や位置づけ活動範囲など整理すべき事項の他、職員の負担増加が懸念される。町では地域づくり協議会制度の活用を推進している。

平野 町内会の行事に職員が顔を出すことで、行政への信頼感が生まれ、災害対策など、協力隊としての効果が期待できる

のでは。

町長 職員には町内会の会合、行事に参加するよう指示している。協力隊員という名前は付けなくても、災害発生時における寄り力をカバーすると、地域の方々が安心安全を得る、信頼関係を築く形にしていければと考えている。

町管理職、公共団体へ女性の登用を

平野 国の第4次男女共同参画計画の、国家公務員採用者に占める女性の割合は、28年4月1日現在34・5%となっている。町の職員採用者に占める割合は。

町長 平成27年から3か年の医療職を除いた職員採用数は、男性7人、女性5人で、女性の構成比では41・7%となっている。

平野 一般行政職の過去3年間の採用状況は。
総務課長 平成27年度 男1、女2。28年度、男3、女3。29年度、男3、

女0となっている。

平野 町職員の各役職段階に占める女性の割合は。

町長 病院医療職と教育職を除いた平成27年度からの3ヶ年、課長級16人全員が男性。課長補佐級は、平成27年度は24人中4人、28年度及び29年度は26人中5人で、構成比は16・7%、19・2%となっている。

平野 女性職員の課長相当職への積極的登用の考えは。

町長 人事管理にあたっては、職員の意欲向上と能力の把握に努め、登用している。平成28年4月施行の女性活躍推進法の趣旨を踏まえ、意欲と能力のある女性職員の課長級、補佐級への登用を積極的に行う。

平野 女性職員の課長・補佐級の登用の目標年度は。
総務課長 平成32年度までに行政職の課長への登用は10%の2名、課長

補佐への登用は25%以上の6名を目指している。

平野 公共団体の審議会委員に占める女性の割合は。

町長 平成28年4月時点で、委員総数284人中、女性は93人で32・7%である。

平野 審議会委員の女性の割合を40%以上引き上げる考えは。

企画財政課長 町の後期基本計画において、平成30年度で40%を目指すとしている。

平野 女性が安心して暮らせる環境整備について、町の将来像は。

町長 町では第2次男女共同参画プランを策定しており、町が目指す姿として、『自分らしく、一人ひとりが輝くまち、共にささえ、共に暮らす、笑顔あふれるまち』を掲げて、各種施策に取り組んでいる。

選挙公報発行に向けて

3回目の調査を実施

総務文教常任委員会

総務文教常任委員会（吉村敏文委員長）では、4月19日（水）に所管事務調査を行い、担当課から説明を受けました。

選挙公報の発行は、

有権者にメリットあり

昨年12月と今年3月に
行われた委員会に引き続
き、町選挙公報条例の制
定に向けて、町選挙管理
委員会から、町長選挙や
町議会議員選挙の投票率、
既に選挙公報を発行して
いる町の投票率のデータ
等について説明を受けま
した。

その結果、選挙公報発
行による投票率改善は期
待に留めることとして、
有権者に対し、候補者の
情報を提供する機会を増
やすという意味で、選挙
公報の発行は重要である
という部分で委員の意見
は一致し、5月15日に、
次の意見をつけて、議長
に対し、調査報告書を提
出しました。

【委員会意見】

選挙管理委員会では、
投票率の向上には期日前
投票所の増設より啓発活
動が有効であり、その1
つとして選挙公報の発行
が投票につながるものと
が、3回にわたる所管事
務調査を通じて、選挙公
報発行が直ちに投票率の
向上につながるものでは
ないということが先進地
における投票率から推察
される。

そこで、選挙公報発行
による投票率の改善は期
待に留め、むしろ有権者
に候補者の情報を提供す
るという点を重要視し、
従来配布している選挙運
動法定葉書（※）より
効果が見込めるため、選
挙公報発行は検討すべき
と考える。

ただし、発行にあつ
ては白黒印刷よりカラー
印刷とし、条例以外の規
定を随時見直すことによ
り、独自色のある選挙公
報を発行できるようにす
ることが望ましい。

おいらせ町の投票率

【町長選挙】

H18.3.26	75.0%
H22.2.28	73.9%
H26.2.23	67.6%

【町議会議員選挙】

H19.4.22	74.6%
H23.4.24	67.0%
H27.4.26	65.9%

・町長選挙、町議選とも毎回投票率が低下している。

【年代別の投票率】

	町議会議員 (H27.4.26)	青森県知事 (H27.6.7)	参議院議員 (H28.7.10)
10歳代	—	—	※ 40.6%
20歳代	41.4%	32.3%	34.6%
30歳代	53.0%	41.7%	45.7%
40歳代	60.5%	52.0%	55.7%
50歳代	72.8%	60.1%	62.6%
60歳代	80.3%	66.4%	69.3%
70歳代	80.8%	71.4%	68.0%
80歳代以上	60.1%	50.0%	43.5%
有権者全体	65.9%	54.9%	55.9%

※選挙権年齢引き下げ後、初となる選挙

・20歳代が全選挙を通じて最も低い投票率となっている。

【参考】選挙公報を発行している近隣町の投票率の推移

	野辺地町		五戸町	
	町長選	町議選	町長選	町議選
選挙公報条例 制定前	H19		H19	H20
	75.7%	77.8%	無投票	69.2%
	H23		H23	H24
	77.2%	無投票	無投票	69.4%
制定後	H27		H27	H28
	無投票	74.3%	69.7%	67.7%

【印刷方法について】

後日、選挙管理委員会
から印刷方法に関する調
査結果の報告がありまし
た。

報告によると、カラー
印刷では白黒印刷より経
費が増えること、また印
刷の手間がかかるため、
納品が半日近く遅れると
のことです。そのため、
カラー印刷とした場合、
最初の選挙公報の発行が
予定される町長選挙が冬
期間であることから、悪
天候の場合には、有権者

への配布が投票日前日と
なる恐れもあるというこ
とでした。

したがって、町長選挙
がある場合、選挙公報は
有権者への早期配布を優
先するため、カラー印刷
ではなく、白黒印刷で発
行することになりました。

※選挙運動法定葉書

選挙運動期間中に候補
者をアピールする手段と
して、選挙運動法定葉
書を配布することができ
ます。

選挙ごとに配布できる
枚数が決まっており、町
長選挙の場合は候補者1
人あたり2500枚、町
議会議員選挙の場合は8
00枚配布できます。
また印刷代は自己負担
ですが、郵送料は公費で
負担されます。

都市計画見直し調査特別委員会（西館芳信委員長）では、平成29年5月18日（木）に委員会を開催し、平成28年10月から5回にわたり調査を行ってきた都市計画の見直しに関する事項について報告書をまとめ、本会議で報告しました。

◆委員会調査報告書

（抜粋）

1. 調査の背景

第1次おいらせ町総合計画の土地利用基本方針に基づき、おいらせ町都市計画マスタープランを策定するに当たり、都市計画見直しを見据えた重要なため、本特別委員会を設置し調査を行った。

2. 調査の目的・結果

おいらせ町都市計画マスタープラン（案）及び都市計画見直しの方向性の内容について、全目的の将来のまちづくりという視点を持ち、次の事項に着目し調査を行った。

（1）おいらせ町が目指す都市計画見直しの方向性について
「単独都市計画」とし、町全域を都市計画区域に指定し「区域区分を導き入しない」再編パターンの分析は適当であり、今後、これら再編パターンにより都市計画見直しの制度設計等を進めていくことを認める。なお、本委員会では、これら再編パターンで都市計画見直



議場で報告をする西館芳信委員長

都市計画の見直しについて

調査結果を報告

都市計画見直し調査特別委員会

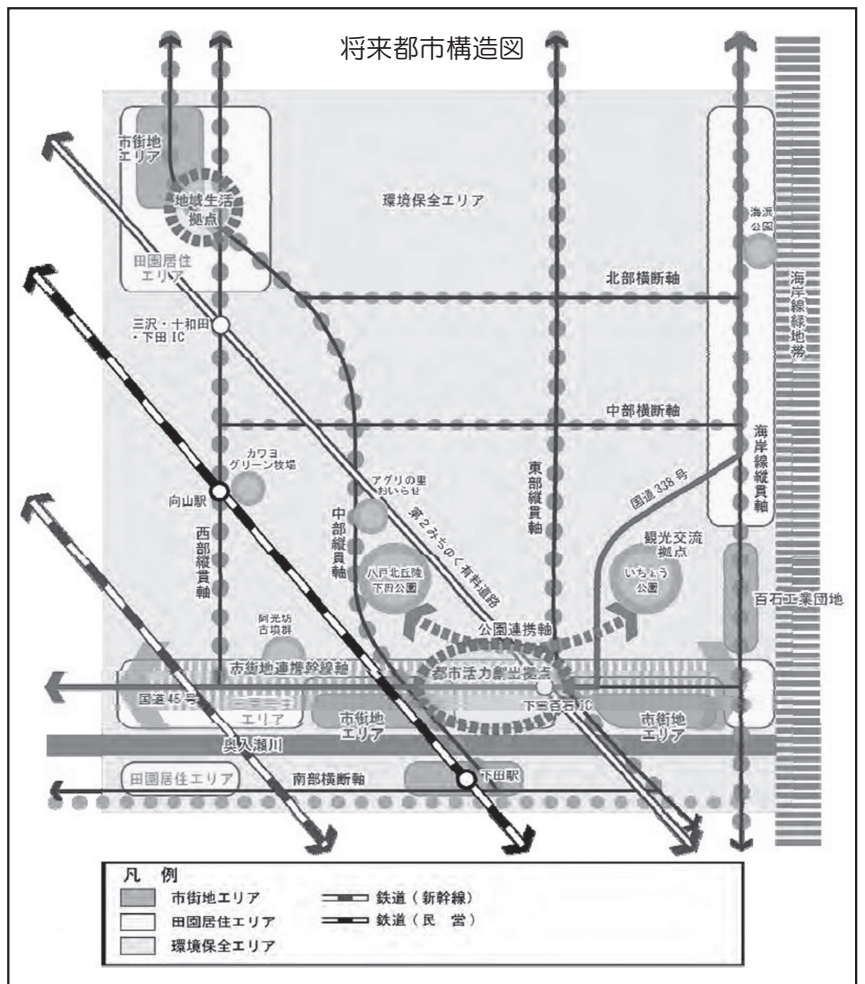
られ、その計画案も適正な内容と認められる。なお、今後組織される附属機関の意見を尊重するとともに、長期的な計画であるため、策定後も必要に応じて見直しを行うことを付帯意見とする。

（2）おいらせ町が目指す都市計画見直しの方向性について

しを決定するものではないことを申し添える。
（3）住民等の意見を反映させるための措置について
十分行われていると認められる。
（4）土地利用関連計画について
①農業振興地域整備計画との調整について

地域整備計画との調整を図りながら、生産性の低い農地の土地利用転換について、調査検討を行うことを付帯意見とする。
②東日本大震災を教訓とした土地利用の調査検討
計画策定後も浸水区域に住む住民等を浸水区域外へ誘導することについて、調査検討を行うことを付帯意見とする。

③本計画と関連した施策における関係各課等との連携強化
本計画案の拠点づくりに関連し、庁舎整備計画や商工業の誘致に関する意見があつたが、このような本計画と関連した重要な施策について、関係各課等との連携を強化し、取り組みを進めることを付帯意見とする。



3つの目標を掲げ

活動する議会を訪問

議会運営委員会調査報告（山梨県昭和三十三市議会）

5月16日（火）、議会改革に取り組み、平成26年度全国町村議会議長会表彰を受けた山梨県昭和三十三市議会を訪問しました。

昭和三十三市は山梨県の中心に位置し、面積は9.1平方キロメートルと小さいですが、人口は約2万人の町です。

昭和三十三市議会（定数16人）では、平成19年に行われた選挙で新人議員9人が当選したことを機に、新議長が①学ぶ議会、②行動する議会、③改革・変革する議会の目標を掲げ、議会改革が始まりました。「学ぶ議会」としては、山梨学院大学との提携により研修会・ワークショップを毎年開催しています。大学教授からの講義（年8回）により専門的な知識を学び、年1回のワークショップでは、学生から新鮮かつ斬新な政策提案をもらい、意見交換を行っています。



先進地の改革について調査

「行動する議会」としては、町内全12区で「井戸端会議」の名称で地域住民と対話集会を開き、会議後には住民の意見を集約し、問題解決に努めています。

「改革・変革する議会」としては、平成22年9月に議会基本条例を制定しています。

議長をリーダーとして、多くの改革に取り組んできたその姿勢は、全国に模範として紹介されてお

り、当町議会としても、先進地の例にならない議会改革を進めていくべきだと感じました。

委員長 松林 義光

第3回定例会のお知らせ

平成29年9月4日（月）午前10時から

第3回定例会では、平成28年度に使った予算の内容をチェックします。おいらせ町議会では、みなさんの傍聴をお待ちしています。傍聴をご希望の方は、議会開催日に、本庁舎3階の議会事務局までお越しください。

- 問い合わせ 議会事務局（本庁舎3階）
- 電話 0178(56)2112

表紙写真をお寄せください

あなたの作品を「ぎかいだより懸橋」に掲載しませんか。表紙の写真を募集中です。おいらせ町の「自然」「伝統行事」「イベント」など、おいらせ町の魅力あふれる写真をお待ちしています。

詳細は、議会ホームページの確認または、議会事務局までお問い合わせください。

送付先 おいらせ町議会事務局
「議会広報写真」係

TEL 0178-56-2111(代表)

FAX 0178-56-4364

Mail gikai@town.oirase.aomori.jp

傍聴席の声

6月議会には、町商工会女性部をはじめ35名の方が傍聴に訪れました。その中からアンケートに寄せられた声をご紹介します。



- ・もう少し質問を早めにしていただきたい。
- ・質問が多すぎたかも（1人の方）。
- ・休憩後、イスに着く時間がダラダラし、時間は守ってほしい（ベル*が鳴ってからの着席が気になっています）。
- ・介護のことを聴くことができよかったです。
- ・おいらせ町が県内で1番人口が多い町であることを知りました。

*ベルは予鈴として開始2分前に鳴らしています。

編集後記

議会では白熱した議論と審議が行われます。

それが行政に反映されて、町民の安全・安心と町の発展の一助となっていると議員一同自負しているのですが、議会を傍聴する機会の少ない町民みなさまを理解させることができず、歯がゆい思いに努力不足を痛感しています。

そのような中、6月議会にたくさんの方々に、傍聴席が満席となりました。商工会女性部の方々とお聞きいただきましたが、いかがでしたでしょうか。

尚一層、議会の活性化、懸橋の内容充実をめざします。

広報委員 榎山 忠

